

最新ロボットが集結 2015年国際ロボット展開催

千葉営業所 所長

寺内 宏



12月2～5日の4日間、東京ビッグサイトで2015年国際ロボット展が開催されました。来場者数は前年10万人に対し12万人を超える来場者となり過去最高を記録しています。また出展者数においても446社（前回334社）の出展がありました。ロボットへの関心の高さが際立った今回の展示会でした。政府による「ロボット新戦略」政策によって一般の人々の関心を集めたことも原因のひとつと考えます。

産業用ロボットはこれまでも自動車や電子部品などの製造分野で導入が進み近年は食品や医薬品などへの導入も盛んです。また、介護負担の軽減にも開発が進み一部は商品化し販売も始まっています。あらゆる場所でロボットが活躍をする「ロボット革命」を目指す日本としてはまさに今年の展示会は「革命元年」に相応しい展示内容であったと思います。

今回の展示会の特徴をまとめてみました。

①協働ロボットの開発 … メーカー各社は安全柵のない安全なロボットへと開発を進めています。法規制によって人とロボットの間には大きな壁が存在しています。安全柵を排除することで多くの可



能性が生まれます。人と協働で動くロボットは市場拡大の大きな鍵となります。各メーカーがこぞって開発を進める理由はそこにあります。今後の開発が大いに期待できるところです。

②周辺装置の開発 … センサー類の小型化、軽量化、高度化がもたらすロボットへの影響は留まるところを知らない。人の感覚を身につけ組立作業や細かい作業などをこなす。3D画像の解析が高度化し複雑な判断もロボットが出来るようになっていきます。次はAI（人工知能）へと繋がると考えられます。

③多種多様な機種 … X-Yから始まり今では水平多関節（スカラ）、多軸多関節、パラレルリンクとメジャーメーカーはほぼ全機種のラインナップを完成させました。用途目的、分野にあわせてそれぞれの特徴を活かした選択が可能になっています。

これからのロボットは“人にやさしく力持ち”でなければ受け入れられません。

操作の易しさ、安全安心への配慮、細やかな動作などまだまだ可能性は無限にあると思います。その分我々にも夢を追える事業であり、この先はどうか2年後の展示会が待ち遠しくなりました。

不二越のロボット紹介

あらゆる分野のものづくりを革新する、
不二越のロボットシリーズ

新製品SCARA EZ03登場

- 水平多関節タイプロボット
- 省スペース、高速スカラロボット
- 可搬質量 3kg～12kg（2機種）

2016年春販売予定

【特徴】

- 1、省スペース化 …… 天吊構造の採用
- 2、スマートなケーブル引き回し ……
手首先端に大中空穴を確保 ハンド配線の安全確保
- 3、スリムなアーム …… Z軸をベースとしたことで狭い間口へ対応
- 4、マルチコントローラ …… 1台のコントローラで複数台制御



中央にスカラEZ03両側はMZ04

ロボットの不二越と呼んでください。
不二越ロボットの豊富なラインナップ

1、ハンドリングロボット

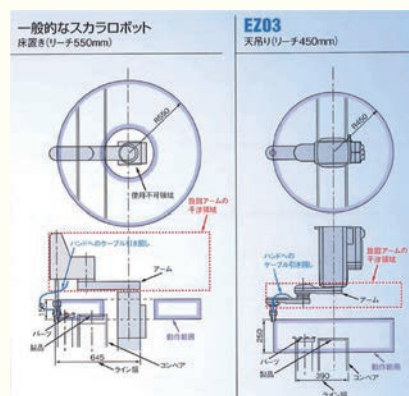
可搬質量 3kg（EZ03）から700kg（SC700）までを
シリーズでカバー

2、パレタイジングロボット

高速搬送によりパレット積込を短時間で行います。多彩な積載パターンに対応します。LPシリーズ

3、溶接ロボット

スポット溶接からアーク溶接、高速シーム溶接まで実現。SRA、NBシリーズ



ロボットは システム構築で決まる。

ロボット導入を考えると必ずシステム構築が問題になります。現実の課題としてシステムインテグレータの不足は否めません。不二越は社内社外にシステムインテグレータを配し常にお客様と考え提案し最善のシステム提案をいたします。まずはロボットを使ってみてはいかがでしょうか。お声がけお待ちしております。